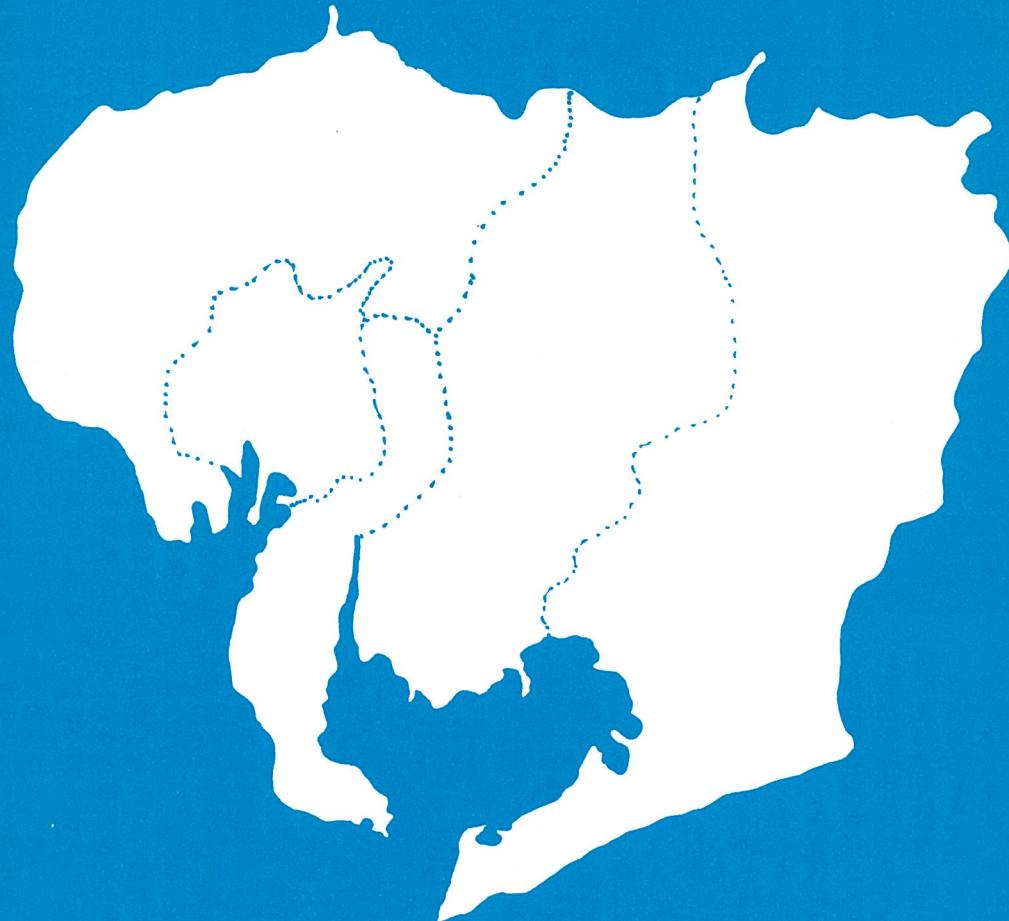


観の眼



目

巻頭言	1
松浦新一郎範士について	2
私の剣道観と修行法	3
藍綬褒章を挙受して	6
剣道範士受称に思うこと	7
おめでとうございます	9
杖道思いつくままに	10
各種大会の結果	11
愛知県実業団剣道の現況	15

次

会員の声	16
全国警察剣道優勝大会決算	20
地区連盟だより	21
東海地区指導者講習会に参加して	22
全剣連第25回中央講習会報告	23
事務局だより	27
平成1.2年度役員一覧	29
各連盟所在地一覧	30
編集後記	30

第14号



財団
法人

愛知県剣道連盟

今年の夏は猛暑続きで苦しめられ、強い日射で身体の芯を傷めないよう注意を受け用心した為めか、無事何事もなく過すことが出来ました。続いて後を追うように、台風の当り年とかで二十一号まで、本土に上陸して猛威を振い暴れ廻り、随分苛められた夏でした。世界の情勢も大きく変動を起し、中でも東西ドイツが奇跡的超スピードで

統一の実現は見事でした
北京で開催された第十一回アジア大会で日本は大敗で終幕となり、中国のあの大勝利の原因はなんでしょうか、それにしても中国は強かつた。よく頑張ったと思います。日本も真剣に頑張つてくれましたが残念至極です。どうか次の広島大会には名譽挽回をしてもらいたいのです
愛知県剣道連盟は昭和六十二年七月に財団法人として発足しましたが、慣れない事務上の仕事に各理事長先生を中心いて役員の諸先生皆様の献身的なご奉仕で運営に当たられたお蔭で無事軌道に乗つて、着実順調に連盟行事が催されて参り、全国の模範連盟となりましたことは誠に慶賀に堪えません。お蔭様で会員一同も感謝しつつ、日々楽しく稽古に励んで居ります。
最近女子剣道の隆盛は驚く外



松浦新一郎範士

松浦新一郎範士について

加藤万寿

松浦新一郎範士は、旧姓浅野新一郎、実は私の父加藤七左衛門の甥であり、浅野八郎範士の実兄で、従つて私とは従兄の間柄である。それ故、松浦家から色々な資料をお借りしたり、私の記憶を辿つて書いてみまし

それは範士の天稟と努力にもよるが、記録の中に次の様な事がしるされています。即ち「自分は中学時代から出来町の高尚館道場主加藤貫一範士と七左衛門範士に師事し、本式に剣道を修業する事ができた。そして貫一範士から『足剣道』の教えに精をだし、お陰で足さばきもどうやら身についた。『足で打つのだ、足で打つのだ』と厳しく教えて貰つたお陰で大兵にも恐れぬ足さばきを会得する事ができ、『足剣道』の教えが今日の私の剣道の基礎になり、又それを發揮する事によつて、数々の試合に成果を得て想い出にもなつた。」

範士の家の玄関を一步入ると、先づ床の間に一枚の絵がかかっているのが目につく。それは昭和三十年国体（藤沢市秩父宮記念体育館）に大将で出場、大将戦で兵庫の庄司教士との対決で見事に胴で勝った一舜の図で範士自筆の絵である。初めての国体出場に、大将でしかも丁度両陛下の御台臨の前での勝利の図で、晚年に範士は時折それを眺めては冥想しておられた。それは、範士にとって何物にもかえ難い想い出であつたと



卷頭言

て参りますことは痛快に存じます。年賀状を頂いた中にきれいな剣道がしたいので一生懸命稽古をして居りますというご婦人のハガキを拝見して、誰れでも願いは同じだ、これでこそ稽古に励みが出るのだと思います。一言にきれいな剣道といつても、参段の壁にぶつかる頃が一つの節目であろうと私は思います。二段頃までは無我夢中で稽古に熱中し、剣道の面白さに心を奪われ、美しさなどというのはなかなか

的な技術的美といつて、日本特有の剣道の美しさを深く追究されています。きれいな剣道を目指して稽古に励まれ一層精進される姿は、剣道の伝統を感じる次第です。年賀状の婦人剣士も参段に見事合格されました。お目出度うございます。

ある席で先生の若い時はどんな稽古をしたか、と聞かれたことがあります。私は即座に命がけで稽古をした、と答えました。気の抜けた稽古は許されない。

全力で打ち込み、強い体当たりと鍔競り合いから素早く飛びさがり、足払いされないうちに間合を切り、続いてすかさず捨て身の攻め込みを操り返し、息つく間もない無心の打ち込み、体をかわされてよろめく処を突き上げられる。なにくそと突き返し突入する。息も絶え絶え、体はふらふら、最後は格闘となり、遂には組み伏せられ、身動きも出来ず息もつまり苦しさまぎれに、さぐり当てた急所を思いつき握りしめて難を逃がれたこともあり、この間は僅か二分位、気力の限りをつくした一氣の稽古である。話し終ると私達はそんな稽古をしたこともないし、見たこともないと溜め息をついて感心していました。毎日朝夕血みどろの厳しい稽古で鍊りに鍊られ、苦しい中にもよく頑張り通した剣道修業は、懐しい若き日の楽しい日々でありました。喜寿を近く迎えようと/or>するこの身体では、若い頃のような激しい稽古は出来ませんので、気持ちの上では無駄のない、充実した打突と、姿勢のバランスをくずさないように心がけている昨今であります。

履歷



私の剣道観と修行法

近藤利雄

全日本しない競技連盟が、終戦後講和条約発効と相俟つて、昭和十七年五月を期して全日本剣道連盟と改名され、以来年々曲りなりにも発展途上についたのであるが、その後連盟指導部に剣道に対する哲学的な要素が乏しかつたためか、或はまた、修業者自身の精神の貧しさによるものか、兎に角日本剣道の針路に大変不安な問題が多く発見されてきて、時に全剣連大島専務理事の発案により、故松本敏夫範士を委員長とした剣道改革委員会が長期に亘つて設立され、遂に昭和五十年五月十四日を期して「剣道の理念並びに修業者の心構え」が全国都道府県に発布され、ここに全剣連の指導方針が見事に確立されたのである。

この哲理に富んだ方針は、正に日本剣道をして陸離と光彩を放なしめる存在に至つたのである。

本であるのである。斯くして剣道の四戒と称せられる驚・懼・疑・惑の念の解決法として最高の課題であるべき現象の背後にある「道」、即ち「平常心」の領域にまで踏み込むべき重要性を念ここに改めて痛感すると共に、我々修業者はこころで以て大いに大悟一番、世界に完絶せる先哲の剣理を後世に継ぐべく、形而上の理法に基づく裾野広き剣道に改革發展せしむべく鋭意努力精進せねばならない。

全剣連の剣道の理念に引續く修行の心構えの文中に、「常に自己の修業に努め」の一節が心ある者の目を惹くが、この方針に対しても最も適切な方法は、常に上虚下実の姿勢により、丹田呼吸を正しく行うことが人間形成を目指す修業者にとって正に金科玉条とも云うべき大切な方法である。

これに似たものに座禅があるが、これは私も毎朝必ず行じているけれども、これはなかなか入るに困難で誰にでも出来ず、かりにこれを始めたとしても結果的には尻切れトンボになってしまふ場合が多い。私は剣道の形而上の内容となつている最も重要な要素は、丹田呼吸による釈迦の教えであると信じて疑わ

然るに遺憾せん、この金科玉条とも云うべき立派な「剣道の理念並びに修業者の心構え」も戦後派の心なまき修業者のみならず、多くの高段者も云うべき立派な「剣道の理念並びに修業者の心構え」も戦後派の心なまき修業者のみならず、多くの高段者でさえも、その後十数年を経た今日になつて尚一向に啓發されることもなく、まるで猫に小判の空念仏に終りたままであつて、我国の剣道は依然として単なるスポーツ思想から一歩も出でていない現状であることはまさに心外至極である。

剣道上達の道程は、凡そその形而下から形而上に及ばれていかねば剣の理法とはならぬのである。然るに現時点においては、形而下のスポーツ的のことのみにその重点を止め、形而上の問題に對しては未だに一歩も踏み出していないのは一体何と存する次第である。

それでは、形而下の剣道とはどういうことであるか。それは読んで字の如く、ここでは形以下のこと、即

「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」人間形成の道

かから始めねばならない。私は今から約三十余年ほど前に、ふとした動機に恵まれ前述の問題解決の方向へ命がけの努力を貫徹せしめたことが基礎となつて、遂に仙人の定力かと思はれたことを大安般守意經に明示されているが、これが釈迦仏教の中心となるてゐるが、これが釈迦仏教の中心となつて榮え、やがて幾時代かを経て、徳川の中期におけるお玉ヶ池の千葉道場では、先づあの長い両国橋を一息に吐いて渡る丹田呼吸法から始めたといふこと等のスポーツは、その盛りは先生、井上正孝範士、故湯野正憲範士と私の四人が、武道館を出て九段宮崎先生を中心として剣談に一花咲かせての帰途、宮崎先生が、「おい近藤、剣道は五十からだぞ、しつかりやれよ！」とあの大きな手で私の背中をどんと叩かれた。(私はそのとき五十二歳) 身長一八〇センチに余る先生が、私の顔を上から見下ろしながら言われたときの、鋭い背中をどんと叩かれた。(私はその

中にも茶気を含んだ先生独特の目があれから三十余年を経た今も尚私の

孟子は踵で息をせよと説き、老子は無を説き、釈迦は丹田呼吸法を説く。然しながらこれ等は言うは易く行うはなかなか難事であつて、それがためには先づ修業の第一歩は自己をして健肢健体にする基本的努力

ない。二千数百年前の釈迦が、ヨガの呼吸による難行苦行を重ねるうち、その力む呼吸法のために声帯が閉ぢられるため脳に努噴作用を起し、その脳を強く痛めていた原因による禪病なることに気付き、そこで、吐く息長く、吸う息短くの秘訣を悟り、ここに心氣一転して修行の本道に入つたことが大安般守意經に明示されているが、これが釈迦仏教の中心となつて榮え、やがて幾時代かを経て、徳川の中期におけるお玉ヶ池の千葉道場では、先づあの長い両国橋を一息に吐いて渡る丹田呼吸法から始めたといふこと等のスポーツは、その盛りは先生、井上正孝範士、故湯野正憲範士と私の四人が、武道館を出て九段宮崎先生を中心として剣談に一花咲かせての帰途、宮崎先生が、「おい近藤、剣道は五十からだぞ、しつかりやれよ！」とあの大きな手で私の背中をどんと叩かれた。(私はその

ときのとき解ったような解らぬような曖昧な気持ちで、それでも襟を正してこの大先生の御注告を拝聴した。

このとき実のところ私の身体は既に稽古のやり過ぎと生活の不摂生が祟つて身体に浮腫さえ生じ、スポーツ会館で稽古のときなど、二階の階段を昇る途中一服せねばならぬ程老

人ははどうして生きている？ 呼吸を三分間止めたら人間は死ぬ？

身心修行の主体はこの肉体を通じて自律神経並びに宇宙意識と云われる大切な気の修練を主眼として始めねばならぬ。古今を通じて剣道の先哲は皆これをもつて修業の本体と捉え、主として上虚下実の体勢による呼吸法の丹田力養成により高度な宇宙意識即ち眞の智慧を身心に磨いたこと

は、彼等先哲が幾多苦行の中においでの秘訣を悟つたというその歴史的事実がよくこれを物語つてゐる。

人間生命の本体とも云うべき自律神經即ち植物神經は、人間の意志で自由にならぬものであるが、その実、丹田呼吸法を正しく強く、或はまつだけこれを意志の力で自由に出来得る大切な器官がある。これは自律神經の王様とも云うべき呼吸器である。

人間生命的本体とも云うべき自律神經の王様とも云うべき呼吸器であるのである。吸う息短かく、吐く息長く、上虚下実の姿勢によりこの丹田呼吸法を正しく強く、或はまつだけこれを意志の力で自由に出来得ることによって宇宙意識を丹田に高めることによつて宇宙意識を丹田に高めることによつて人間修行の根本とした事は、二千数十年前の釈迦を通じた東洋における貴重な修行の哲理であり、そしてこれが、日本に於ける万芸に通ずる修行道としての基

化への下り坂にあつた。以来日が経つにつれて、あの日宮崎先生のご注告が私の心に重くのしかかるようを感じ出した或る夜のこと、ふと目を覚まし、ふとんから飛び起きて畳の上で片足立ちをしてみたところ、何度も試みても悲しいかな、四十四を数える間以上立てぬ弱い脚力となつていた。そこで宮崎先生のご注告に応えるには先づ脚力からと考へて鋭意これを思い立ち、四十回しか立てぬ情ない自分のこの脚力を、驚くながら四千回、即ち百倍強化への思い切った悲願達成をば自己の心の神に深く契つたのである…。

以来忠実に片足立ちを交互に毎朝決行することを日課とし、そしてその数える回数をだんだんと増加していく。四十回を百回にするまでに三週間ほどかかったが、その頃からそろそろその辛さが身にしみ出してきて、自然用事にかこつけて初志貫徹はどうやら不可能の方向へ曲り道しそうになってきた。然し天はまだ私を見捨てなかつた。そこで私はこのとき人生にとつての最も貴い徳は初志に対する反省力なり…を心中に強く閃めくものを痛感し、以来心気を更に一転せしめ死力を奮い起して再度これに挑み続けた。そして今度お呼びをいただいたのでした。

こそ如何なることがあろうとも、譬えこれが旅行先と雖も必ず休むことを実施することにした。ある歯医者から、そんな無茶なことをすると歯軸が参ってしまうからと注告されたので、念のため外の歯科医に相談したら、それは大変良いことだ、安心して大いにやりなさい。五十歳過ぎてからの歯は主として歯槽膿漏でやられるのだから、歯軸の削られるほどやつてもむしろそれは血行がよくなり却つて歯を護ることになる……。

この言葉に安心し励まされて、以来われながら涙ぐましくも、正に読んで字の如く死力を尽して精進努力を全うした。

以来あのとき大発心以来ここに九ヶ月の星霜が、苦しみはやがて希望を楽しみのうちに過ぎ去つて逝つた……。そしてその死力継続の結晶は遂に念願の片足立ち四千回、即ち脚力を百倍にするという正に人間業とは信じられぬ偉業を神は私をして為さしめてくれたのである。

一拝受して

化研修所 前田 治雄

我が愛知県は、明治新政発足の時に当つて、歴史の上に重要な足跡を残しております。その一つに、大浜騒動と称せられる大衆活動がありました。これは、伝統的宗教を擁護する純真な人々の熱意の高まりが大きな動きとなつて、刑死に遭う犠牲者を出すまでに至りましたが、遂に、政策の偏向を正すことができ、信教の自由を尊重する近代国家形成への原動力となつたものでした。このことは、三河路の剣兄諸士には特によく御承知にことと存じますが、特に、私のところの宗教史の第一頁はここから始まるのでござります。

もう一つは明治五年、身を挺して牢内の人々に過を説き教えを示して、幾多の更生者を出すことができて、後年、教誨師という役職の名を法規の上に明記される程の業績の一一番最初を開いた人が、名古屋のお坊さんでありました。今もそのお寺は現存して居られます。これは郷土の先覚者として誇りであると共に、世界の足立ち四百回、即ち最初の十倍の脚力強化に先づ成功した。

こうした伝統を承けて四十数年以前、名古屋刑務所の教育部に勤務して居た私は、あたかも太平洋戦争敗北後の、祖国が平和条約の発効する時を迎へ、時代の様子が大きく変り始めたなかに於て、貴重な経験をさせていただきました。それは、戦後の復興にともない名古屋刑務所では、世の動きにさきがけて、剣道修業の場を再開して下さったことです。そのおかげで、精一ぱい稽古に打ち込むことができたのは、實に望外の幸せであったと思います。更に昭和二十八年、世情の推移を鑑みた我が国の行刑界では、篤志面接委員という制度を新らしく設けて、一般社会の人々の中から、宗教・教育・教養・法律・衛生・特技等を身につけた文化人によるボランティア活動を求めて、矯正教育を広く認識し、推進する協力してもらうようになつて来たという状況を、まのあたりに見守する場所に居たのでした。

その後官を辞して十余年、幸いにも中学・高校・大学生と共に剣道修業興隆の時に当つて充実した日々に恵まれ、やがて学園を離れて自坊心寺創建に専念するようになつてか

の青少年詩君と共に汗を流しつつ、時の流れと共に変貌する巷にあって、寺院本来の姿を求めて試行錯誤を重ねて来て居るのですが、計らずも昭和四十二年夏、名古屋矯正管区長より委嘱され、名古屋刑務所篤志面接委員として毎月同所を訪問することとなり、特に問題を抱えている受刑者の、精神的・身体的煩悶について面接指導を行つてゐるのでございます。これまでの記録によりますと、通算三千名に及ぶ相談に当つて来たとのことにて、このたびの受章はそれを認めていただけたものと承りました。ここに、思ひもよらず栄誉を賜つた蔭には、実に数多の数奇な出会いがあつたおかげに外ならないことを思いつつ、これからも「剣心一如」の真理を探究することを基として、少しでも社会を明るくすることに貢献できるならば身に余る喜びと存じております。

尚、現代の矯正施設に於ては、少年に対する教育科目としても剣道が重要視されて居ることを見守いたしますに付けても、剣道界の先生方がこの道に一段と御関心を持つていただければ幸甚と存じておりますことを申し上げて、この御報告の結びとさせていただきます。



藍綬褒章を拝受して

一心寺文化研修所 前田治雄

いただきましたことについて、「観の眼」にその感想を述べよと、わざわざ声をかけて下さった御趣旨に従つて、筆を執らせていただきます。

平成二年五月十五日、法務省の大講堂へ集まつた、藍綬・黄綬褒章受章者五十余名の中に、矯正教育関係の篤志面接委員と教誨師が八名、私は名古屋刑務所篤志面接委員として、お呼びをいただいたのでした。

授章式後、皇居の豊明殿に参集し

し」のお言葉を賜り、一同感激のま
まに、新緑の大内山を散策。太田道
灌公以来の歴史を物語り、はるかに
武藏野の面影を色濃く残す、自然美
豊かな雰囲気に浸つて、心身共に実
に爽快な気分を満喫させていただき
ました。

我が愛知県は、明治新政発足の時に当つて、歴史の上に重要な足跡を残しております。その一つに、大浜騒動と称せられる大衆活動がありました。これは、伝統的宗教を擁護する純真な人々の熱意の高まりが大きな動きとなつて、刑死に遭う犠牲者を出すまでに至りましたが、遂に、政策の偏向を正すことができて、信教の自由を尊重する近代国家形成への原動力となつたものでした。このことは、三河路の剣兄諸士には特によく御承知にことと存じますが、特に、私のこころの宗教史の第一頁はここから始まるのでございます。

もう一つは明治五年、身を挺して牢内の人々に過を説き教えを示して、幾多の更生者を出すことができて、後年、教誨師という役職の名を法規の上に明記される程の業績の一一番最初を開いた人が、名古屋のお坊さんでありました。今もそのお寺は現存して居られます。これは郷土の先覚者として誇りであると共に、世界の

以来忠実に片足立ちを交互に毎朝決行することを日課とし、そしてその数える回数をだんだんと増加していく。四十回を百回にするまでに三週間ほどかかったが、その頃からそろそろその辛さが身にしみ出してきて、自然用事にかこつけて初志貫徹はどうやら不可能の方向へ曲り道しそうになってきた。然し天はまだ私を見捨てなかつた。そこで私はこのとき人生にとつての最も貴い徳は初志に対する反省力なり……を心中に強く閃めくものを痛感し、以来心気を更に一転せしめ死力を奮い起して再度これに挑み続けた。そして今度

られるのだから、歯軸の削られるほどやつてもむしろそれは血行がよくなり却つて歯を護ることになる……。この言葉に安心し励まされて、以來われながら涙ぐましくも、正に読んで字の如く死力を尽して精進努力を全うした。

以来あのとき大発心以来ここに九ヶ月の星霜が、苦しみはやがて希望を楽しみのうちに過ぎ去つて逝つた……。そしてその死力継続の結晶は遂に念願の片足立ち四千回、即ち脚力を百倍にするという正に人間業とは信じられぬ偉業を神は私をして為さしめてくれたのである。

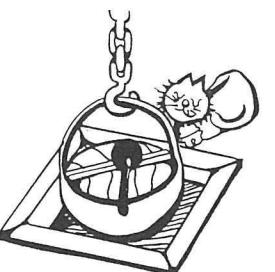
化への下り坂にあつた。以来日が経つにつれて、あの日宮崎先生のご通告が私の心に重くのしかかるようを感じ出した或る夜のこと、ふと目を覚まし、ふとんから飛び起きて畳の上で片足立ちをしてみたところ、何度も試みても悲しいかな、四十四を数える間以上立てぬ弱い脚力となつていた。そこで宮崎先生のご通告に応えるには先づ脚力からと考えて鋭意これを思い立ち、四十回しか立てぬ情ない自分のこの脚力を、驚くながら四千回、即ち百倍強化への思い切った悲願達成をば自己の心の神に深

こそ如何なることがあろうとも、譬えこれが旅行先と雖も必ず休むことなく実行し、やがて六ヶ月位で片足立ち四百回、即ち最初の十倍の脚力強化に先づ成功した。

然しながらまだ初志貫徹には十分の一に過ぎず、そこで一策を案じ出し、毎朝歯を磨くその数でこれを実施することにした。ある歯医者から、そんな無茶なことをすると歯軸が参つてしまふからと注告されたので、念のため外の歯科医に相談したら、それは大変良いことだ、安心して大いにやりなさい。五十歳過ぎ

噫々、天は自ら助くる者を助くの
古人の句われを欺かず…。

私は以上申し述べてきた様々な精進努力のお陰によつて、一例を挙げ



各種大会の結果

第35回東海四県対抗剣道大会

第6回愛知県家庭婦人剣道大会

(30代の部)

東 池谷 上村 公子
野田ひろみ 池谷みゆき

●成田山奉納剣道大会
期日 平成元年十一月三日
会場 犬山 成田山境内

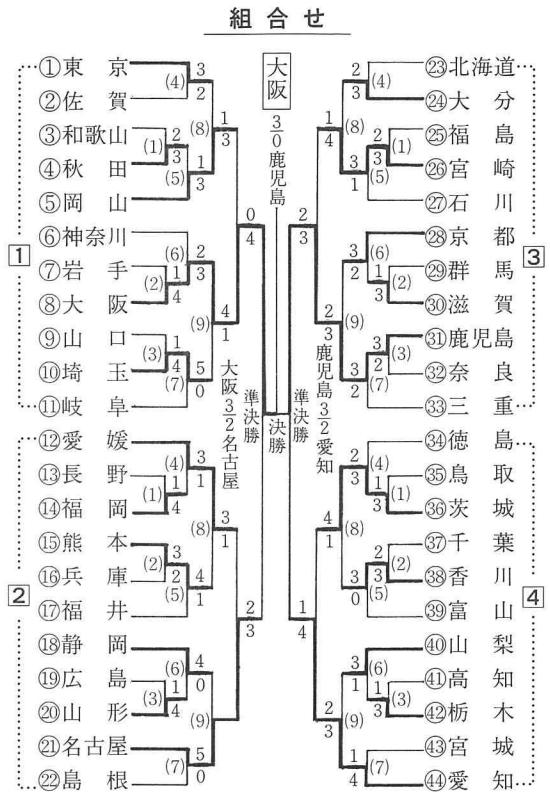


剣道試合総合成績表

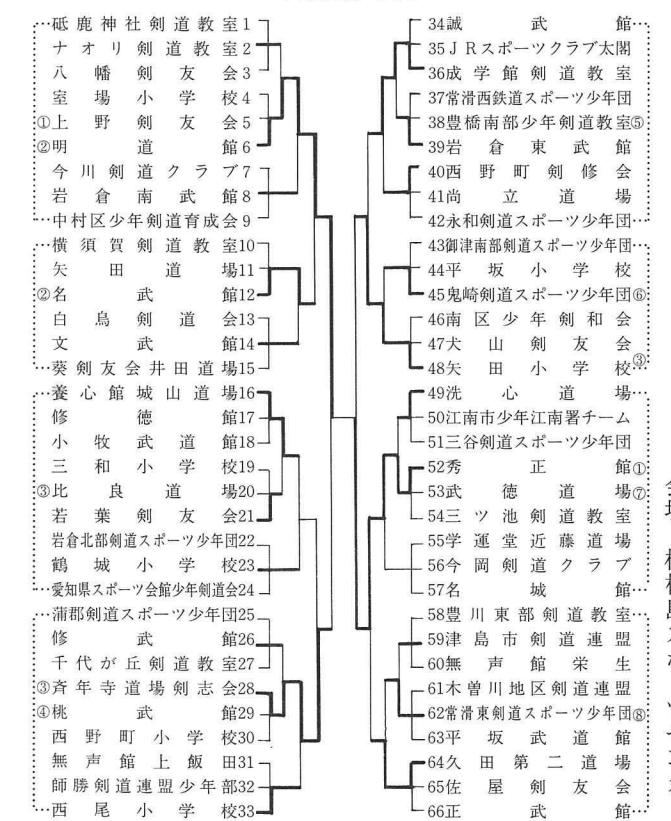
	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	勝数	勝者数	順位
静岡県	7/3	15/9	11/8	11/6	15	17	30 2
愛知県	15/9	16/9	22/11		3	29	53 1
岐阜県	6/2	6/4	13/7		1	13	24 3
三重県	11/6	1/5	1/3		0.5	12	29 4

第21回愛知県春季少年剣道大会

(40代の部) 東 池谷 上村 公子
後藤 大島 国本美弥子

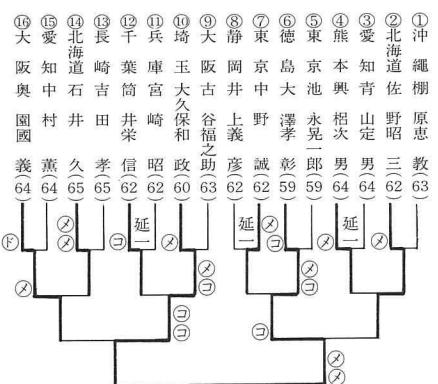


対戦組合せ表



第14回明治村剣道大会

期日 平成二年三月二十五日
会場 明治村「無●堂」



五地区連盟対抗リーグ戦

地区名	西三河	尾 南	名古屋	尾 張	東三河
西三河		△	△	△	△
尾 南	△		△	△	△
名古屋	△	△		△	△
尾 張	△	△	△		△
東三河	△	△	△	△	

第23回愛知県六団体対抗剣道大会

期日 平成二年七月一日
会場 稲永スポーツセンター

	警察	官公庁	実業団	教員	一般	学生
警察		△	△	△	△	△
官公庁	△	△	△	△	△	△
実業団	△	△	△	△	△	△
教員	△	△	△	△	△	△
一般	△	△	△	△	△	△
学生	△	△	△	△	△	△

第18回愛知県教職員地区対抗剣道大会

期日 平成二年五月二十日
会場 稲永スポーツセンター

	名古屋A	西三河B	尾 南C	東三河D	尾 張E
名古屋		10/5	3/1	4/2	
西三河	5/1		5/3	4/2	10/5
尾 南	8/4	6/2		4/3	7/4
東三河	11/6	10/6	3/2		11/7
尾 張	10/4	5/1	7/3	2/1	
得点	15/3	14/2	9/1	8/1	17/3
順位	2	3	4	5	1



成績表

期日 平成二年七月一日
会場 稲永スポーツセンター

	名古屋	西三河	尾 南	東三河	尾 張
名古屋		10/5	3/1	4/2	
西三河	5/1		5/3	4/2	10/5
尾 南	8/4	6/2		4/3	7/4
東三河	11/6	10/6	3/2		11/7
尾 張	10/4	5/1	7/3	2/1	
得点	15/3	14/2	9/1	8/1	17/3
順位	2	3	4	5	1

成績表

期日 平成二年七月一日
会場 稲永スポーツセンター

	名古屋	西三河	尾 南	東三河	尾 張
名古屋		10/5	3/1	4/2	
西三河	5/1		5/3	4/2	10/5
尾 南	8/4	6/2		4/3	7/4
東三河	11/6	10/6	3/2		11/7
尾 張	10/4	5/1	7/3	2/1	
得点	15/3	14/2	9/1	8/1	17/3
順位	2	3	4	5	1

成績表

期日 平成二年七月一日
会場 稲永スポーツセンター

	名古屋	西三河	尾 南	東三河	尾 張
名古屋		10/5	3/1	4/2	
西三河	5/1		5/3	4/2	10/5
尾 南	8/4	6/2		4/3	7/4
東三河	11/6	10/6	3/2		11/7
尾 張	10/4	5/1	7/3	2/1	
得点	15/3	14/2	9/1	8/1	17/3
順位	2	3	4	5	1

成績表

期日 平成二年七月一日
会場 稲永スポーツセンター

	名古屋	西三河	尾 南	東三河	尾 張
名古屋		10/5	3/1	4/2	
西三河	5/1		5/3	4/2	10/5
尾 南	8/4	6/2		4/3	7/4
東三河	11/6	10/6	3/2		11/7
尾 張	10/4	5/1	7/3	2/1	
得点	15/3	14/2	9/1	8/1	17/3
順位	2	3	4	5	1

成績表

期日 平成二年七月一日
会場 稲永スポーツセンター

	名古屋	西三河	尾 南	東三河	尾 張
名古屋		10/5	3/1	4/2	
西三河	5/1		5/3	4/2	10/5
尾 南	8/4	6/2		4/3	7/4
東三河	11/6	10/6	3/2		11/7
尾 張	10/4	5/1	7/3	2/1	
得点	15/3	14/2	9/1	8/1	17/3
順位	2	3	4	5	1

成績表

期日 平成二年七月一日
会場 稲永スポーツセンター

	名古屋	西三河	尾 南	東三河	尾 張
名古屋		10/5	3/1	4/2	
西三河	5/1		5/3	4/2	10/5
尾 南	8/4	6/2		4/3	7/4
東三河	11/6	10/6	3/2		11/7
尾 張	10/4	5/1	7/3	2/1	
得点	15/3	14/2	9/1	8/1	17/3
順位	2	3	4	5	1

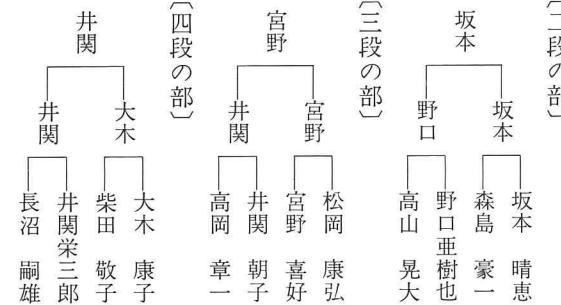
成績表

期日 平成二年七月一日
会場 稲永スポーツセンター

	名古屋	西三河	尾 南	東三河	尾 張
名古屋		10/5	3/1	4/2	
西三河	5/1		5/3	4/2	10/5
尾 南	8/4	6/2		4/3	7/4
東三河	11/6	10/6	3/2		11/7
尾 張	10/4	5/1	7/3	2/1	
得点	15/3	14/2	9/1	8/1	17/3
順位	2	3	4	5	1

● 愛知県国体予選会

期日 平成二年六月三十日
会場 露橋スポーツセンター



● 第12回県制定居合道 段別選手権大会

期日 平成二年九月一日
会場 名古屋市総合体育館

(初段男子の部)

坂本 戸苅 野口 石原 戸苅 神藤 神藤かおる

(二段の部)

坂本 佐原 村瀬 太田 桜井 宣治

(三段の部)

坂本 井関 宮野 喜好 野口 豊島 晴恵

(四段の部)

井関 大木 宮野 高岡 井関 康弘

井関 大木 柴田 敬子 井関 章一

井関 康子 長沼 嗣雄

第21回全国高等学校定期制 通信制剣道大会

日時 平成二年八月三日
会場 東京 日本武道館

参加者 (団体戦選手) 佐宗 次鋒 中堅 山本 伊納

(監督) 登幸(星南工四年)
(科日進三年) 芳之(科日進三年)

(団体戦選手) 佐宗 下方

(監督) 登幸(星南工四年)
(科日進三年) 大島

愛知		A		神奈川	
佐竹	メ	ココ	上村	大坂	B
下方		メメ	重岡	本篠	
山本	コ		浦崎	松島	
伊納		メメ	平井	藤原	
大島	ド	メコ	天野	氏丸	
	1		4		
	3		8		

愛知		群馬 A		群馬 B	
佐宗	コメ	高林	本篠	小林	松島
下方	ココ			関	藤原
山本	メ			吉井	氏丸
伊納	メメ			原	川井
大島	メメ				
	5		0		
	10		0		

成績(団体戦) 二次リーグ

大将		大島 康史(児玉四年)		大将	
佐宗	コメ	補欠	小川 典之(刈谷東四年)	大島 康史(児玉四年)	大将
下方	ココ	小川	典之(刈谷東四年)	大島 康史(児玉四年)	大将
山本	メ	田口 敏行(科日進二年)	鳥羽 功剛(東海工二年)	大島 康史(児玉四年)	大将
伊納	メメ	田口 敏行(科日進二年)	鳥羽 功剛(東海工二年)	大島 康史(児玉四年)	大将
大島	メメ	田口 敏行(科日進二年)	鳥羽 功剛(東海工二年)	大島 康史(児玉四年)	大将
	5	0	1	0	1
	10	0	1	0	1

成績(個人戦男子)

第一リーグ		第二リーグ		第三リーグ	
鳥羽	メ反一	鳥羽	メ反一	藤沢(香川)	藤沢(香川)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	荒井(千葉 A)	荒井(千葉 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	東代(東京 B)	東代(東京 B)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	百岳(熊本)	百岳(熊本)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤田(大阪 A)	藤田(大阪 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	大野(佐賀)	大野(佐賀)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	渡辺(柄木)	渡辺(柄木)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤沢(香川)	藤沢(香川)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	荒井(千葉 A)	荒井(千葉 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	東代(東京 B)	東代(東京 B)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	百岳(熊本)	百岳(熊本)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤田(大阪 A)	藤田(大阪 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	大野(佐賀)	大野(佐賀)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	渡辺(柄木)	渡辺(柄木)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤沢(香川)	藤沢(香川)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	荒井(千葉 A)	荒井(千葉 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	東代(東京 B)	東代(東京 B)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	百岳(熊本)	百岳(熊本)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤田(大阪 A)	藤田(大阪 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	大野(佐賀)	大野(佐賀)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	渡辺(柄木)	渡辺(柄木)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤沢(香川)	藤沢(香川)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	荒井(千葉 A)	荒井(千葉 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	東代(東京 B)	東代(東京 B)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	百岳(熊本)	百岳(熊本)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤田(大阪 A)	藤田(大阪 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	大野(佐賀)	大野(佐賀)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	渡辺(柄木)	渡辺(柄木)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤沢(香川)	藤沢(香川)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	荒井(千葉 A)	荒井(千葉 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	東代(東京 B)	東代(東京 B)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	百岳(熊本)	百岳(熊本)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤田(大阪 A)	藤田(大阪 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	大野(佐賀)	大野(佐賀)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	渡辺(柄木)	渡辺(柄木)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤沢(香川)	藤沢(香川)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	荒井(千葉 A)	荒井(千葉 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	東代(東京 B)	東代(東京 B)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	百岳(熊本)	百岳(熊本)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤田(大阪 A)	藤田(大阪 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	大野(佐賀)	大野(佐賀)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	渡辺(柄木)	渡辺(柄木)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤沢(香川)	藤沢(香川)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	荒井(千葉 A)	荒井(千葉 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	東代(東京 B)	東代(東京 B)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	百岳(熊本)	百岳(熊本)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤田(大阪 A)	藤田(大阪 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	大野(佐賀)	大野(佐賀)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	渡辺(柄木)	渡辺(柄木)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤沢(香川)	藤沢(香川)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	荒井(千葉 A)	荒井(千葉 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	東代(東京 B)	東代(東京 B)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	百岳(熊本)	百岳(熊本)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤田(大阪 A)	藤田(大阪 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	大野(佐賀)	大野(佐賀)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	渡辺(柄木)	渡辺(柄木)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤沢(香川)	藤沢(香川)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	荒井(千葉 A)	荒井(千葉 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	東代(東京 B)	東代(東京 B)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	百岳(熊本)	百岳(熊本)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤田(大阪 A)	藤田(大阪 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	大野(佐賀)	大野(佐賀)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	渡辺(柄木)	渡辺(柄木)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤沢(香川)	藤沢(香川)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	荒井(千葉 A)	荒井(千葉 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	東代(東京 B)	東代(東京 B)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	百岳(熊本)	百岳(熊本)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤田(大阪 A)	藤田(大阪 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	大野(佐賀)	大野(佐賀)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	渡辺(柄木)	渡辺(柄木)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤沢(香川)	藤沢(香川)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	荒井(千葉 A)	荒井(千葉 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	東代(東京 B)	東代(東京 B)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	百岳(熊本)	百岳(熊本)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤田(大阪 A)	藤田(大阪 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	大野(佐賀)	大野(佐賀)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	渡辺(柄木)	渡辺(柄木)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤沢(香川)	藤沢(香川)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	荒井(千葉 A)	荒井(千葉 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	東代(東京 B)	東代(東京 B)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	百岳(熊本)	百岳(熊本)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤田(大阪 A)	藤田(大阪 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	大野(佐賀)	大野(佐賀)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	渡辺(柄木)	渡辺(柄木)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤沢(香川)	藤沢(香川)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	荒井(千葉 A)	荒井(千葉 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	東代(東京 B)	東代(東京 B)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	百岳(熊本)	百岳(熊本)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤田(大阪 A)	藤田(大阪 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	大野(佐賀)	大野(佐賀)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	渡辺(柄木)	渡辺(柄木)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	藤沢(香川)	藤沢(香川)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	荒井(千葉 A)	荒井(千葉 A)
鳥羽	メコ一	鳥羽	メコ一	東代(東京 B)</td	

愛知県実業団剣道の現況

上 北 勝 也

今、愛知の実業団剣道は燃えている。何故ならばここ数年遠ざかっている全日本実業団の王座を奪回すべく、各会社が虎視眈眈と腕を磨き新しい血を補充し努力しているから。今年で三十三回目を迎えた全日本実業団大会に於いて、過去の愛知の戦績を振り返ってみると、第一回から第十回迄は、実に優勝が東レ名古屋三回、東レ愛知五回。二位が東レ名古屋一回。三位が東レ名古屋一回という素晴らしい成績が残っている。そして、第十一回から第二十回の間は少々ブランクがあり優勝無し、二位に東レ愛知二回。三位が東レ名古屋一回、大同特殊鋼一回という成績で終わり、第二十一回から昨年の第三十二回の間には又もや優勝なし、二位に大同特殊鋼一回、三位に名鉄ストアード二回という様な記録が残っている。

今年は、去る九月十五日に、日本武道館に愛知県から優勝を目指し、二十二社という多数が参加した。招介を兼ねて参加した二十二社を順不

同で列挙すると、豊田自動織機、東

レ名古屋、トヨタ自動車本社、名鉄百貨店、アイシン精機、日本電装本社、名古屋鉄道、三菱重工名古屋、豊田通商、大同特殊鋼本社、名鉄ス

トアー、豊田工機、東レ岡崎、ニデック、中部電力、日本電装西尾、丸栄百貨店、豊田合成、新日鐵製鉄名古屋、トヨタ自動車名古屋、大同特殊鋼星崎、東レ愛知。以上の会社が

出場したが、結果は残念ながら三位迄の入賞が果せなかつた。しかし、試合に負けたとはいへ各会社とも殆んど五分に渡り合っていた。

その中で注目して観たのは、丸栄百貨店、東レ名古屋、名鉄ストアード、そしてトヨタグループの各社。先ず丸栄百貨店、メンバーをガラッと入れ替え、時代逆行してベテランで出て来た。どのチームも若手若手と目の色変えている中で、若手なにすらものぞとメンバーを組んだその気宇壯大、且つ痛快であつた。出来得るならベスト8迄行つて欲しいと応援していたが、結果は果せなかつた。

トヨタグループは、近年とみに強くなつてきている。その中でも、日本電装西尾の活躍が光つていた。過去最高とおもわれるベスト16は見事だつた。それに対して、グループの総帥と自負しているであろうトヨタ自動車本社が、自信を持つて乗り込んできたが、持てる力を十二分に発揮して、決して落とさない。このまま稽古を積んで順調に行けば、初の全国制覇も夢ではないだろ。頑張つて欲しいものだ。

名鉄ストアードは、東レ名古屋と対称的に大学の主将クラスでメンバーを入れ替えてきた。試合も学生時代を彷彿とさせる安定した試合運びで、ベスト16に入つたのは立派だつた。このまま稽古を積んで順調に行けば、初の全国制覇も夢ではないだろ。頑張つて欲しいものだ。

実業団剣道の現状は、先ず稽古は毎日の仕事を他の人と同じようにこなしてからになり、それも夜勤があつたり、残業があつたりして、稽古時間が少ないということと、全員が一同に集まらないという悩みがある。逆に、理解のある会社なら補強も充分に出来、予算もついて、稽古時間もある程度考慮してもらえ、恵まれた環境で剣道に打ち込むことが出来る。しかし、そのような会社は少ないのが現状です。

それはそれとして、我々実業人は先日百一才で逝つた奥村土牛画伯の健闘を祈りたい。

力はあれど、稽古不足と勝負勘のズレで敗退したのは惜しまれた。多分思われるが、これからは夜の勤務を程々にして稽古を充分積まれ、来年も出て来て欲しいものだ。次に東レ早々にレギュラーに抜擢してきた。

名古屋、丸栄百貨店と逆に、インターハイ出場の若手三人を入社させ、アーチャーは硫石とおもわせた。が、これからの三年が勝負になりそうだ。若い故に遊びの誘惑に負けず稽古に

励んでもらいたいものだ。

名鉄ストアードは、東レ名古屋と対称的に大学の主将クラスでメンバーを入れ替えてきた。試合も学生時代を彷彿とさせる安定した試合運びで、ベスト16に入つたのは立派だつた。このまま稽古を積んで順調に行けば、初の全国制覇も夢ではないだろ。頑張つて欲しいものだ。

トヨタグループは、近年とみに強くなつてきている。その中でも、日本電装西尾の活躍が光つていた。過去最高とおもわれるベスト16は見事だつた。それに対して、グループの総帥と自負しているであろうトヨタ自動車本社が、自信を持つて乗り込んできたが、持てる力を十二分に発揮して、決して落とさない。このまま稽古を積んで順調に行けば、初の全国制覇も夢ではないだろ。頑張つて欲しいものだ。

実業団剣道の現状は、先ず稽古は毎日の仕事を他の人と同じようにこなしてからになり、それも夜勤があつたり、残業があつたりして、稽古時間が少ないということと、全員が一同に集まらないという悩みがある。逆に、理解のある会社なら補強も充分に出来、予算もついて、稽古時間もある程度考慮してもらえ、恵まれた環境で剣道に打ち込むことが出来る。しかし、そのような会社は少ないのが現状です。

それはそれとして、我々実業人は先日百一才で逝つた奥村土牛画伯の健闘を祈りたい。

揮できず二回戦で敗退したのは残念だった。力があるのだから今一度の奮起を期待したい。

ちなみに、今回全日本実業団を制したのは隣りの岐阜県にある日本耐酸瓶本社工場で、これで三回目の優勝を飾ったことになった。日本耐酸

瓶とは中部実業団大会に於いて、過

去十回に愛知五、耐酸瓶五の五分で

優勝を分け合つてある。それから推

測して、愛知もそろそろ優勝しなければというのが各社の本音のようだ。

力はあれど、稽古不足と勝負勘のズ

レで敗退したのは惜しまれた。多分思われるが、これからは夜の勤務を

程々にして稽古を充分積まれ、来年も出て来て欲しいものだ。次に東レ

早々にレギュラーに抜擢してきた。

名古屋、丸栄百貨店と逆に、インタ

ーハイ出場の若手三人を入社させ、アーチャーは硫石とおもわせた。が、これからの三年が勝負になりそうだ。

若い故に遊びの誘惑に負けず稽古に

励んでもらいたいものだ。

名鉄ストアードは、東レ名古屋と対

称的に大学の主将クラスでメンバー

を入れ替えてきた。試合も学生時代

を彷彿とさせる安定した試合運び

で、ベスト16に入つたのは立派だつ

た。このまま稽古を積んで順調に行

けば、初の全国制覇も夢ではないだ

ろう。頑張つて欲しいものだ。

トヨタグループは、近年とみに強

くなつてきている。その中でも、日

本電装西尾の活躍が光つていた。過

去年最高とおもわれるベスト16は見事

だつた。それに対して、グループの

総帥と自負しているであろうトヨタ

自動車本社が、自信を持つて乗り込

んできたが、持てる力を十二分に発

揮して、決して落とさない。このまま稽古を積んで順調に行

けば、初の全国制覇も夢ではないだ

ろう。頑張つて欲しいものだ。

実業団剣道の現状は、先ず稽古は毎日の仕事を他の人と同じようにこなしてからになり、それも夜勤があつたり、残業があつたりして、稽古時間が少ないということと、全員が一同に集まらないという悩みがある。逆に、理解のある会社なら補強も充分に出来、予算もついて、稽古時間もある程度考慮してもらえ、恵まれた環境で剣道に打ち込むことが出来る。しかし、そのような会社は少ないのが現状です。

それはそれとして、我々実業人は先日百一才で逝つた奥村土牛画伯の健闘を祈りたい。

会員の声

フルマラソンから剣道と居合道へ

加藤美代子

今から七年前の三月頃だったと思

います。その頃、私はフルマラソン

の講師の先生方や、一般的の剣道のけ

い古熱心な方々に、一つ一つ手とり、

足とり、御指導いただき、あつと言

う間の七年が過ぎてしましました。

多くの先生方に御注意をいただく

と、私は忘れない様にノートに書く

事にしていました。今、そのノートは五冊になりました。今も時々読み返します。又、良い本があると、親切にも私に「これ、読んでごらん」と手渡され、本を読み、そして古き良き時代の剣道も知る事が出来ました。そして、四年ほど前から居合道も御指導いただき、始めました。

居合は相手が目の前にいません。

しかし、居合刀を抜いていると、だ

んだん気分が入り、まるで目の前に

を変えました。左！左！と左右に声をかけます。すると、身体が軽く前

に出て、スピードを保ち続けて走れます。

ある剣道の先生が「教え、あたえ

る事には限度がある。本人に、努力すればうまくなると言う事を本人に

から、へそまでは、切れる。と言う

事、居合道の先生が言われる様にな

かなか出来ませんが、私の頭の中で、

剣道と剣道形と居合道の三つがピタ

ッと一諸になる時が、あります。頭の中だけではいけないので、竹刀と木刀と居合刀を出して振つて見ます。

その場で納得出来たら、次は道場に行つた時、もう一度やつて見ます。

多くの先生方に御注意をいただく

と、私は忘れない様にノートに書く

事にしていました。今も時々読み

返します。又、良い本があると、親

切にも私に「これ、読んでごらん」と手渡され、本を読み、そして古き

良き時代の剣道も知る事が出来ま

した。そして、四年ほど前から居合道

も御指導いただき、始めました。

ただいたのが、やつてみようかな？

そんなある日、いつもの様に、汗

びつしょりになつて道場に入つて行

く私に、剣道の先生が「毎日いい汗

かいてるね、走れるなら剣道も子供

と一諸に出来るヨ」と声をかけてい

ました。

両方できるならやつてみようか？

マラソンのコーチに相談して、毎日

ただいたのが、やつてみようかな？

居合は相手が目の前にいません。

しかし、居合刀を抜いていると、だ

んだん気分が入り、まるで目の前に

を変えました。左！左！と左右に声を

をかけます。すると、身体が軽く前

に出て、スピードを保ち続けて走れ

ます。

私は、良き師に恵まれ、沢山の先輩方に囲まれ、楽しい仲間も出来ま

した。皆様方に本当に感謝致してお

ります。今後とも御指導のほどをよろしくお願い申し上げます。そして、私の武道の最大の理解者である家族とともに、人間形成につとめる所存でございます。

それはそれとして、我々実業人は先日百一才で逝つた奥村土牛画伯の健闘を祈りたい。

ちなんに、今回全日本実業団を制

したのは隣りの岐阜県にある日本耐酸瓶本社工場で、これで三回目の優

勝を飾つたことになつた。日本耐酸

瓶とは中部実業団大会に於いて、過

去十回に愛知五、耐酸瓶五の五分で

優勝を分け合つてある。それから推

測して、愛知もそろそろ優勝しなけ

ればというのが各社の本音のようだ。

力はあれど、稽古不足と勝負勘のズ

レで敗退したのは惜しまれた。多分思われるが、これからは夜の勤務を

程々にして稽古を充分積まれ、来年も出て来て欲しいものだ。次に東レ

早々にレギュラーに抜擢してきた。

名古屋、丸栄百貨店と逆に、インタ

ーハイ出場の若手三人を入社させ、アーチャーは硫石とおもわせた。が、これからの三年が勝負になりそうだ。

若い故に遊びの誘惑に負けず稽古に

励んでもらいたいものだ。

名鉄ストアードは、東レ名古屋と対

称的に大学の主将クラスでメンバー

を入れ替えてきた。試合も学生時代

を彷彿とさせる安定した試合運び

で、ベスト16に入つたのは立派だつ

た。このまま稽古を積んで順調に行

けば、初の全国制覇も夢ではないだ

ろう。頑張つて欲しいものだ。

トヨタグループは、近年とみに強

くなつてきている。その中でも、日

本電装西尾の活躍が光つていた。過

去最高とおもわれるベスト16は見事

だつた。それに対して、グループの

総帥と自負しているであろうトヨタ

自動車本社が、自信を持つて乗り込

んできたが、持てる力を十二分に発

揮して、決して落とさない。このまま稽古を積んで順調に行

けば、初の全国制覇も夢ではないだ

ろう。頑張つて欲しいものだ。

実業団剣道の現状は、先ず稽古は毎日の仕事を他の人と同じようにこなしてからになり、それも夜勤があつたり、残業があつたりして、稽古時間が少ないということと、全員が一同に集まらないという悩みがある。逆に、理解のある会社なら補強も充分に出来、予算もついて、稽古時間もある程度考慮してもらえ、恵まれた環境で剣道に打ち込むことが出来る。しかし、そのような会社は少ないのが現状です。

それはそれとして、我々実業人は先日百一才で逝つた奥村土牛画伯の健闘を祈りたい。

ちなんに、今回全日本実業団を制

したのは隣りの岐阜県にある日本耐酸瓶本社工場で、これで三回目の優

勝を飾つたことになつた。日本耐酸

瓶とは中部実業団大会に於いて、過

去十回に愛知五、耐酸瓶五の五分で

優勝を分け合つてある。それから推

測して、愛知もそろそろ優勝しなけ

ればというのが各社の本音のようだ。

ちに、「五十の手習いとはむづかしいものだ」と感じた時に、心の迷いを人以上の稽古をすることにおいて打ち消そうと、修練に修練を積み重ねました。練習を終えて帰ると、その日の復習に余念のない連日です。寧の中で、面、胴、、小手の声に目が覚める時もありました。

が日課となり、一級取得に意欲を燃やし、稽古をしていく時に、ある一人の指導者の方が私に近より”人体稽古も大切だが、目で見る稽古も大切だ”と教えられました。

習の一環の一部が試験であり、修得出来たのですが、初心者である私はこれなら一段や、三段は楽に取れると思ったかをくくつておりました所、初段を修得するには剣道形といつて打太刀五本仕太刀五本の実技が有りなおかつ学科があると先生に聞かされ自分の耳をうたがいました。剣道形は至難技です。日ごと稽古を付け頂いている先生にお願いし、先生の御自宅の庭で二十日間剣道形の御指導頂き初段を修得出来ました。不器用な私に自信と剣道の深遠い、剣道の理念を教えてもらいました。

ています。毎月、第一週目の日曜日には、瑞剣のみんなで、女子の部や5、六年の部などがあつて、試合をします。その試合で、今年、私は、四、五回優勝することができます。おたがいに打ち合つたり、三分ほど試合をしていったりしますが、私はいつも心講えをして、対戦します。たとえば、同じくらいの力の人を、おいぬかそうという、ライバル意識を持って、やります。その人には絶対に、勝つぞ、と思つて練習しています。もし、その人に、負けてしまっても、心は、次は必ず勝つぞ、と思って、今までの、くやしかつたり、悲しかつたりする気持ちが、自分を、よくしていこうとする心に変わつて、自分の精神を、きたえています。

自分でも、少しは、上達したと思います。ライバル意しきを、持てるようになつたりして、「心」が強くなりました。がまん強さや、礼議も、身につくようになりました。先生の姿や、上手な人のわざを見て、見取りげいことをしています。見取りげいこも、一つの強くなる方法と思つて練習に、はげんでいます。

これからも、一日も休まずに、練習にはげんでいきたいと思います。

私と劍道

天野美穂

には、瑞剣のみんなで、女子の部や
5、六年の部などがあつて、試合を
します。その試合で、今年、私は、
四、五回優勝することができます。
おたがいに打ち合つたり、三分ほど
試合をしていったりしますが、私は
いつも心講えをして、対戦します。
たとえば、同じくらいの力の人を、
おいぬかそうという、ライバル意し
きを持つて、やります。その人には
絶対に、勝つぞ、と思つて練習して
います。もし、その人に、負けてし
まつても、心は、次は必ず勝つぞ、
と思って、今までの、くやしかつ
たり、悲しかつたりする気持ちが、
自分を、よくしていこうとする心に
変わつて、自分の精神を、きたえて
います。

私と剣道との出会いは弟の練習を見に行つてゐる時に、お母さんにおすすめられて入りました。最初の時はとてもいやで、いやでたまりませんでした。でも、行つてゐるうちに私もできるんじゃないかと思つて、約三年間も過ぎてしまいました。そしてやつと自分に自信がつくようなきっかけが出来ました。それは、瑞穂少年剣友会の二十周年記念大会の女子の部で優勝したことが、自分に一番自信に結びついたと思います。それから、六年生になつて、剣道でキヤブテンという役目につきました。最初は、号札をかけるのも少しひずかしかつたけど、女のキヤブテンだからと言つて前のキヤブテンに負けてはいられないでの、腹の底から大きな声を出しました。それからは、はずかしくなりませんでした。

剣道を始めてから

樋口剛仁

いることは、高学年 中学生になる
と打ちが弱いと一本とつてくれない
と言うことなので、ふみ込みを強く
して、手首を使つてもつと強く打て
るようになりたいと思いますが、剣
道はむづかしくてなかなか、自分で
思つていてもうまくできません。
試合で、自分の思つていてるよつにい
かない時は、くやしくてたまりませ
んでした。これからは、見取りけい
こと先生の言うことをよく聞いて、
つねに頭の中に入れておきたいと思
いました。

あと私は、剣道を休まず行つて、
かい勤賞や精勤賞を取つて見たいと
思つていますが、まだ精勤賞しか取
つたことしかないで、六年生の間
に、かい勤賞を取りたいです。でも
今までに一度休んだことがあるから
かい勤賞は、ムリだと思つています。
でもこれから、真剣にみんなに負け
ない剣道をしてがんばりたいと思ひ

剣道を始めてから
樋口剛仁

剣道を始めてから

樋口剛仁

言つて一度剣道の練習を見に行つたら、こわくて、やめたりました。でも、お母さんが、「強くなるよう。」と言つたので始めました。

毎週、練習に行くのが、始めは、楽しかつたけど、防具をつける頃から、だんだんイヤになつてきました。「練習がイヤだ。」と言うと、「イヤでも、毎週行かなきゃいけない。」と連れて行かれました。そして、仕方なく練習をしました。そしたら練習中に先生から、「樋口」と、どなられるので、よけいに、練習に行くのがイヤになりました。「行くのイヤだ」と泣きわめくと、お母さんが、「今、イヤだけど、がんばつていれば、大きくなつて、きっと、いいことがあらります。毎週、剣道の練習日が来るのが、イヤでたまりませんでした。でも、ずっと続いているうちに、後から入ってきた同学年の友達に、月例会などで負けはじめでから、少しは、

「かんはこう」という気持ちになら
えきました。そして練習も「行かな
きやいけない」と思うようになります。
した。

それと同時に、級試験を受けるよ
うになつた時、落ちてばかりで、だ
んだん自信がなくなつて、受けるの

世界には試験はありますが、日頃、教えられない教科、実技等は剣道の世界のみ、かくされた技であることとを知ることができました。

各種いろいろなスポーツまたは武道を取得するものには大きく分けて、天性型と、努力型（不器用）があると思う。天性型は少々の練習でも身につき、余分な力を使わず、竹刀が舞っているかの様に見え、左手の使いわけと人体そのものが必要以上の動きをせず、次から次とバランスよく鍛えられている事が眼に写ります。

不器用な私は重い竹刀で稽古すればパワーがつくと思いましたが、やりすぎるとスピードが落ちてきます。剣道で重要な働きをする筋肉は腕を伸ばす上腕三頭筋ですがバランスよく鍛えることが大切だと思いました。日頃右手ばかりを使う私ですが、あまり動かすことのない筋肉の左手を利き腕とし意識的に動かすことを身体に教える様に心がけています。

中高年者の初心者には剣道の「道」の道は険しいと痛感しました。頭だけで考える剣道はできず、より多くの頭にインプットしていく以外、人体でつかみにくいものを取り入れ

ていく姿勢を崩さないようにし、上達への道を切り開いていく根気が第一であると思います。

剣道とは手の内は、左手が「八か七」右手は「二か三」と言われているが今の私の剣歴ではそれはできない。高段者の方々が審判の立ち姿や、ふるまいなどかなりの経験を積んだ方々でも、右肩上りの先生やその逆の先生方の姿勢など見ていると高段者には見えないのだが、『イザ』竹刀を手に握られると、『シャツキ』とされ竹刀と氣剣体が一体となり、初心者の私には強心とするどさが伝わってきます。『経験に勝つものは無し』稽古とは組み打ちあたり、突き技があつたりし、お互いが研ぎ染まれ、己れを知り、敵を知ることがでるよう、ガムシヤラに稽古をし常に理想を高く、『氣剣体の一致』『気攻め』『読み』が出来る剣道、特操高潔、剣理精通、技能円熟と、三大条件の修得を目指に日ごと稽古にはげみ、己れの目標段位修得に努力致します。

私が剣道を始めたのは、小学四年生のときでした。お母さんといつしょに、近くの小学校の体育館に、見学に行つたとき、体育館からは、「おねがいします。」「いち、に、さん……。」と大きな声がしていました。その時は（やりたいなあ）と、もう自分では、決心していました。剣道場にひびく声、私もその声にまじって、練習していくたいなあ、みんなが、顔を真赤にして、あせをたらたらと流して、がんばっています。私は、絶対やろうと決心しました。

剣道をやり始めると、みんなが、仲良くしてくれて、たくさん友達ができました。そのころ私は、竹刀をふり回すだけで、剣道の「け」の字もわからなかつたのです。でも、早くみんなのようにならなければなりません。だから、それなりに、いつもガンバッていました。

今、私は小学六年生です。四年生から、はや二年、だんだんと試合にも出るようになりました。瑞剣では毎週土、日曜日に、剣道の練習をし

私と剣道

小六 岡田英里

ていく姿勢を崩さないよつにし、上達への道を切り開いていく根気が第1であると思います。

七」右手は「二か三」と言われているが今の私の剣歴ではそれはできない。高段者の方々が審判の立ち姿やいふるまいなどかなりの経験を積んだが

生のときでした。お母さんといっしょに、近くの小学校の体育館に、見学に行つたとき、体育館からは、「おねがいします。」「いちにさん……。」

がこわくなつてきただけど、三度目に
受かつたときは、スゴクうれしいき
もちでした。

今でも、時どき足がいたくなったり、練習中に先生にしかられたりすると、練習に行きたくない時があるけど、練習に行けば、みんなが来てがんばっているので、「いつしょにやろう」と思って練習しています。

それに、弟も剣道を始めて、毎週練習の日になると、泣き始めるので「ぼくがイヤがつたらいけない」と思って、やめさせよう。

思ってかんはっています

ぼくのとくい技

四年 片山芳史

ぼくは、一年生の時から、剣道を習い始めて、三年たちました。一年生の時は、みんなと楽しく剣道をするのが、とても好きでした。でも、二年生の時は、みんなと、しゃいをするのが、少しこわくなり、やめたくなった時も、ありました。ぎやくに、三年生の時は、友だちとしゃいをするのが、すきになりました。今は、とても剣道が、おもしろくなりました。

二年生の時におぼえた技は、小手、面の二だん打ちです。三年生の時は「ごまかして打っていましたが、四年

どんな努力をしているかというと、父が家にいる時、竹刀を、持つてもらって、胴打ちの練習をくり返しやっています。だから、だんだん良くなってきてるよに、思いました。

ぼくは先生から、いろいろな技を教えていただきました。その中で、ぼくが、一番とくいとする技は、竹刀はらつて面です。ぼくは、この技を、毎月行なわれている、月例会に使つてみました。技が入つた時は、とてもうれしくて、「よし、入つたぞ。」と、心で思いました。次にとくいにする技は、相手の目をごまかして、胴です。この技は、中学生の人に、教えてもらいました。この技の使い方は、フェイントをうまく使つて、小手を打つふりをして胴、面を打つふりをして胴を打つのです。ほかにも、出小手、出ばなの面、小手はら

ばくと剣道

天野成章

な技が、うまく使えるように練習しようと思っています。

ぼくと剣道

天野成章

ぼくは、ある日、お母さんに、すすめられて、剣道に入りました。もう四年になります。その間、いろいろな事がありました。頭がいたい時、はらがいたい時、熱が少しあつた時でも休ませてくれませんでした。でも、ふしぎと剣道をやつているといたいのが、だんだん、良くなつてきました。二年生の時、竹刀の持ち方が、悪くて、五級の級試験におちたので、くやしい思いをしました。その持ち方というのは、手首を上下手を回すような感じで上下に、ふつふるつてやるんだけど、ぼくは、動きを、毎日、毎日練習をしました家で、竹刀を持たないで、右手首の

九月三日

二三

ぼくは、剣道を初めようと思つたのは、友達がさそつてくれたからです。ぼくは、スポーツは、にがてだつたし、体が弱くて、続けられるかなあと思つたけど、剣道をやつて体力をつけて、元気になろうと思つてやつてみました。

ぼくは、ならい始めたのは、一年生の冬でした。その時は、真冬だったので、道場のゆかが、ものすごく冷たかつたので、足がきれそうにい

つて面、さし面、という、いろいろな技も先生から教えていただきました。

そしたら、一ヶ月も、しないうちに、なんなく、良くなつたと、思いました。それと言うのも、五級、四級と級試験を合格したからです。これからは、悪い所は、根気よく直していくたいと思いました。それから、先生たちに、自げいこの時に、真けんのあまり、おしたおきれたりした事

たかった。けれど、体が温かくなる
ようにがんばった。しかし、体力が
あまりなかつたので、つかれてしま
い、時々休みましたが、練習はしん
げんにやりました。でも、休んだ日
の中には、とても、大切な用事があ
つたので休んだ日もありました。
そして、二ヶ月ぐらいして、新し
く入った人たちがいたので、ぼう具
をつけるのがのびてしまい、つける
のがおそくなるので、その時は、や
だなと思いました。けれど、わくわ
くしてきました。つけ初めのころは、
あまり動きがとれずに、あせをかい
たり、はかまがひつかかつたりしま
した。

二年生の時の夏休みに合宿があり
ました。合宿に早く行きたくて、ね
むれない日もありました。そして、
合宿の初日の練習は、いつもの練習
よりもきびしかつたです。三日目の
帰る日は、試合なので、前日より、
きびしくありませんでした。帰りの
バスの中で今度の合宿は、いきたく
ないと思い、次の練習日、ぼくは、
行きたくありませんでした。なぜか
というと、あのきびしい練習を、し
たくなかつたからです。それから、
剣道をやめていく人がでてきました。
でも、ぼくは、剣道が強くなりたか

愛知縣警

一年不

『愛知県警 一年で一部復帰』

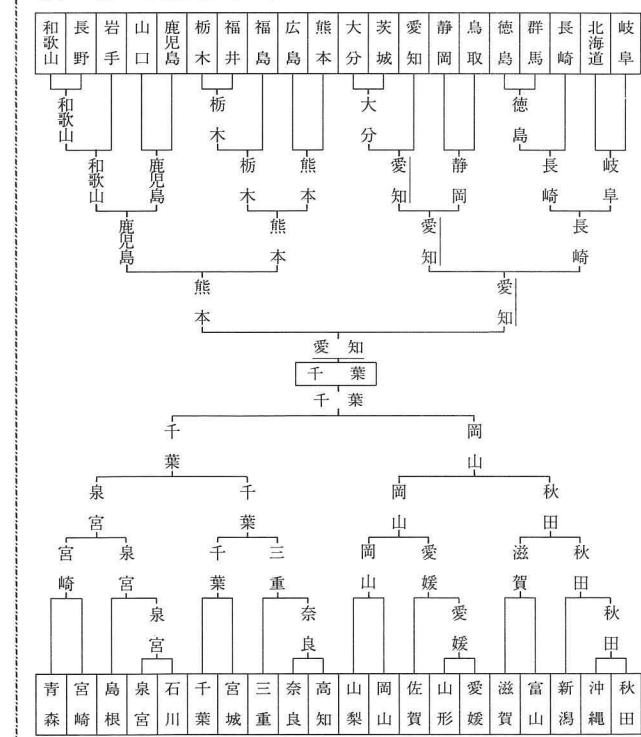
実力を示し、輝しい結果を残した。

つたから、やめたくはなかつた。がかりげいこで先生につき飛ばされたりして手足を打つたりして、いたかつたけど、がまんした。そして、今のがんばって練習をして二級が受かるようにしたいです。

それに、ぼくは、大人になつたら剣道の先生になつて、小さな子たちに、剣道を教えるのが、ぼくの夢です。

全国警察剣道優勝大会結果

〔第2部 試合組合せ〕



チーム名	先鋒	次鋒	五将	四将	三将	副将	大将	勝	本数	勝者
愛知	山部	大河内	山崎	穗園	比	東	畠山	6 5	○	▲
	判	判	(メ)	(メ)	(メ)					
大分	(判)				コ	(判)	平地弘	3 2	○	▲
	堤	中原	荒巻	平地	笠谷	渡辺	中			
愛知	中村	大河内	穂園	山崎	日比	東	畠山	7 4	○	▲
	メ	(コ)	(ト)	(コ)			(メ)			
静岡	(メ)	(コ)				(ト)		5 3	○	▲
	竹内	上原	深田	若井	水嶋	田中	安永			
愛知	中村	大河内	穂園	山崎	比	東	畠山	6 4	○	▲
	判	(ト)	(ト)	(メ)	(ト)	(ト)				
長崎	(メ)		(コ)		コ	(メ)	野田	6 3	○	▲
	馬場	田中	林田	吉田	本田	尾山	畠山			
愛知	北村	大河内	穂園	山崎	比	(コ)	(判)	4 4	○	▲
	(コ)			(コ)	(判)	(判)				
熊本	(メ)		(コ)	(コ)				3 3	○	▲
	宮上	前田	吉川	清水	桑原	龟井	荒木			
愛知	北村	大河内	穂園	山崎	比	東	畠山	3 3	○	▲
	(メ)		(メ)	(メ)	(コ)					
千葉	(ト)		(コ)		(メ)	(メ)		6 4	○	▲
	染谷	重石	飯井	青木	土橋		柿原			

剣道形

はじめに

1、剣道形は昭和五十六年十二月全剣連発行の解説書の通りであり、なんら本質的に変わったところはない。

したがって、形の解説書の留意点、着眼点をふまえて、形の指導を実施してゆけばよい。

2、平成元年二月普及委員会形小委員会によって、まとめられた意志及び指導方法の統一事項を、

平成二年度においても引き続き形指導の手引書(指導書)として活用し、形の周知徹底を実施してゆけばよい。

形練習上の心構え

1、形は雄大に行う。

2、呼吸を整える。一本の形は二呼吸位で行うことができればすばらしい。

3、目付を誤らないようにする。

4、前進後退の時に、上半身を腰

剣道形実技

I 立合

1、座札をしてから、立合い九歩の間合に進む要領について

打太刀は仕太刀の動作を見ながら加減をして動作をすること。

(形終後も同じ)

II 太刀

1、一本目
打太刀の右小手を仕太刀が打つ後の残心について。
口、形に表われない残心は動作として表さない方がよい。

2、二本目
打太刀が間合に接したとき、機を見て打ち出すとき、肩を上げて打つ人が多いが、肩を上げない(反動をつけない)打つよう指導する。

3、三本目
打太刀が間合に接したとき、機を見て打ち出すとき、肩を上げて打つ人が多いが、肩を上げない(反動をつけない)打つよう指導する。

5、足はすり足で音をたてない。
6、太刀は機を見て、小太刀の入身にならんとするという心の問題を味わって打つこと。

7、充分な気位で残心を示すこと。
イ、打太刀は仕太刀に充分な残心を示させる。

8、打突は約束の部位を正確に打つこと。

9、振りかぶった太刀は剣先がさがらないようにすること。

10、緩急、強弱と充実した気迫を大切にし、发声は腹から大きく突すること。

11、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

12、形は打太刀、仕太刀の二人の創作であることを忘れないこと。

13、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

14、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

15、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

16、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

17、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

18、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

19、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

20、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

21、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

22、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

23、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

24、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

25、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

26、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

27、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

28、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

29、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

30、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

31、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

32、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

33、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

34、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

35、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

36、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

37、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

38、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

39、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

40、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

41、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

42、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

43、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

44、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

45、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

審判法

I はじめに

* 内面的な心の状態であるので、半身の構えそのものに変化はない。

1、打太刀の水月を突くのを、仕太刀がなやすとき、左拳の握りは変えない。

2、仕太刀の位詰の後、元の位置に戻る際に、歩幅が小さいために、元の位置に戻れないので、引き方をもう少し大きくし、元の位置に戻るようになります。このことは三歩前進、五歩後退の際でも言えることで、充分修練すべきである。

3、四本目
切り結ぶ場合の高さは、充分に腕を伸ばして、そのまま進めば相手の正面に当たる高さで切り結ぶよう指導すべきである。

4、七本目
何故に、一足一刀の間合から、左、右、つまり二足一刀で打つのか。これは打太刀の大技で捨て身の正面打ちを示したもので、仕太刀のそれ違い右胴打ちがやりやすいようにしたものである。

5、八本目
入身については、氣勢を充実して相手の手元に飛び込んでゆく状態を言う。

III 小太刀

1、打太刀は仕太刀に充分な残心を示すこと。

2、太刀は機を見て、小太刀の入身にならんとするという心の問題を味わって打つこと。

3、充分な気位で残心を示すこと。

4、足はすり足で音をたてない。

5、太刀は機を見て、小太刀の入身にならんとするという心の問題を味わって打つこと。

6、太刀は機を見て、小太刀の入身にならんとするという心の問題を味わって打つこと。

7、充分な気位で残心を示すこと。

8、太刀は機を見て、小太刀の入身にならんとするという心の問題を味わって打つこと。

9、振りかぶった太刀は剣先がさがらないようにすること。

10、緩急、強弱と充実した気迫を大切にし、发声は腹から大きく突すること。

11、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

12、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

13、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

14、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

15、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

16、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

17、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

18、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

19、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

20、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

21、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

22、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

23、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

24、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

25、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

26、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

27、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

28、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

29、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

30、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

31、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

32、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

33、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

34、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

35、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

36、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

37、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

38、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

39、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

40、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

41、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

42、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

43、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

44、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

45、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

46、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

47、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

48、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

49、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

50、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

51、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

52、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

53、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

54、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

55、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

56、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

57、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

58、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

59、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

60、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

61、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

62、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

63、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

64、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

65、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

66、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

67、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

68、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

69、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

70、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

71、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

72、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

73、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

74、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

75、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

76、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

77、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

78、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

79、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

80、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

81、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

82、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

83、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

84、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

85、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

86、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

87、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

88、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

89、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

90、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

91、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

92、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

93、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

94、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

95、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

96、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

97、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

98、形は打太刀の咽喉部に付けてはいけない。

99、約束の構えの変化は守らなければならぬようにすること。

鎧競り合いの見極めを厳しくし、
いずれか一方に挙げ、安易に両者に
挙げないように留意する。

*イ、審判の運営の在り方によつ
て、鎧競り合いの内容が変わつ
てくる。

ロ、鎧競り合いの内容の活性化
が必要である。

審判技術

- 1、宣告
言葉は短く語尾を上げる。(緊張感が高まる。)
- 2、姿勢
試合者に対して、なるべく正対して見るようにして、横から見たり、体を曲げて見るのはよくない。
- 3、突き放しについて
瞬間的な軽度のものは反則はない方がよい。
嫌悪感を醸すようなものは反則として取る。

理事会 昭63・6・12(日) 協議事項	1、昭和六十一年度事業報告について て 承認	1、昭和六十一年度事業報告について て 承認	1、昭和六十一年度事業報告について て 承認
評議員会 平1・3・18(日) 協議事項	2、昭和六十一年度収支計算書について て 承認	2、昭和六十一年度収支計算書について て 承認	2、昭和六十一年度収支計算書について て 承認
理事会 平1・1・29(日) 協議事項	3、理事任期中の辞任と、新理事選出について て 承認	3、理事任期中の辞任と、新理事選出について て 承認	3、理事任期中の辞任と、新理事選出について て 承認
評議員会 昭63・6・12(日) 協議事項	4、資金運用委員会について て 承認	4、資金運用委員会について て 承認	4、資金運用委員会について て 承認
理事会 平1・3・18(日) 協議事項	5、寄附行為第19条(1)の変更について て 承認	5、寄附行為第19条(1)の変更について て 承認	5、寄附行為第19条(1)の変更について て 承認
評議員会 平1・1・29(日) 協議事項	6、会長、副会長、相談役及び参与について て 承認	6、会長、副会長、相談役及び参与について て 承認	6、会長、副会長、相談役及び参与について て 承認
理事会 平1・3・18(日) 協議事項	7、技術委員会、依員長変更について て 承認	7、技術委員会、依員長変更について て 承認	7、技術委員会、依員長変更について て 承認
評議員会 平1・1・29(日) 協議事項	8、武道館について て 承認	8、武道館について て 承認	8、武道館について て 承認

事務局だより

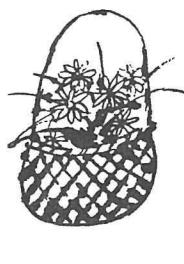


昭和六十三年度

理事会・評議員会報告

理事会 平元・6・24(日) 協議事項	1、平成元年度事業計画(案)について て 承認	1、北海道国体について 了承	1、国体中央競技団体視察について て 承認
評議員会 平1・3・18(日) 協議事項	2、平成元年度予算(案)について て 承認	2、平成元年・二年年度理事及び監事選出について て 承認	2、平成元年・二年年度評議選出について て 承認
協議事項	3、平成元年・二年年度事業計画(案)について て 承認	3、平成元年・二年年度事業計画(案)について て 承認	3、平成元年・二年年度評議選出について て 承認
協議事項	4、居合道、杖道の級審査実施について て 承認	4、居合道、杖道の級審査実施について て 承認	4、居合道、杖道の級審査実施について て 承認
協議事項	5、消費税導入に伴う審査料、登録料の料金について て 承認	5、消費税導入に伴う審査料、登録料の料金について て 承認	5、消費税導入に伴う審査料、登録料の料金について て 承認
平成元年度	6、段位、称号審査について て 承認	6、段位、称号審査について て 承認	6、段位、称号審査について て 承認
理事会 平元・6・24(日) 協議事項	7、専門委員会について て 承認	7、専門委員会について て 承認	7、専門委員会について て 承認
協議事項	8、第二十七回剣道中堅指導者講習会について て 承認	8、第二十七回剣道中堅指導者講習会について て 承認	8、第二十七回剣道中堅指導者講習会について て 承認
協議事項	9、福井県知事杯全日本剣道大会(武道館落成記念) 報告事項	9、福井県知事杯全日本剣道大会(武道館落成記念) 報告事項	9、(1)国体二巡目について 了承 (2)次会理事会開催を三月上旬の予定 (3)加藤文雄、前理事長の待遇について (4)平成元年・二年の審査員について (5)愛知県スポーツ会館平成元年
協議事項	10、全国居合道地区講習会について て 承認	10、全国居合道地区講習会について て 承認	10、全国居合道地区講習会について て 承認
協議事項	11、県外研修について て 承認	11、県外研修について て 承認	11、県外研修について て 承認
理事会 平1・3・10(土) 協議事項	12、昭和六十三年度事業報告について て 承認	12、昭和六十三年度事業報告について て 承認	12、昭和六十三年度事業報告について て 承認
理事会 平2・3・10(土) 協議事項	13、第三十八回全日本都道府県大会の監督、選手について て 承認	13、第三十八回全日本都道府県大会の監督、選手について て 承認	13、第三十八回全日本都道府県大会の監督、選手について て 承認
理事会 平2・3・10(土) 協議事項	14、第二十五回中央講習快の受講者について て 承認	14、第二十五回中央講習快の受講者について て 承認	14、第二十五回中央講習快の受講者について て 承認
理事会 平2・3・10(土) 協議事項	15、愛知県スポーツ会館平成二年度講師について て 承認	15、愛知県スポーツ会館平成二年度講師について て 承認	15、愛知県スポーツ会館平成二年度講師について て 承認
理事会 平2・3・10(土) 協議事項	16、西尾市国体リハーサルについて て 承認	16、西尾市国体リハーサルについて て 承認	16、西尾市国体リハーサルについて て 承認
理事会 平2・3・10(土) 協議事項	17、国体、少年・少女の推進校及び拠点校について て 承認	17、国体、少年・少女の推進校及び拠点校について て 承認	17、国体、少年・少女の推進校及び拠点校について て 承認
理事会 平2・3・10(土) 協議事項	18、事務局の事務簡素化を推進するため、コンピューターの導入について て 承認	18、事務局の事務簡素化を推進するため、コンピューターの導入について て 承認	18、事務局の事務簡素化を推進するため、コンピューターの導入について て 承認
理事会 平2・3・10(土) 協議事項	19、段級位、認定審査及び職員給与規程を六月の評議員会、理事会に上程する。 規程を六月の評議員会、理事会に上程する。	19、段級位、認定審査及び職員給与規程を六月の評議員会、理事会に上程する。 規程を六月の評議員会、理事会に上程する。	19、段級位、認定審査及び職員給与規程を六月の評議員会、理事会に上程する。 規程を六月の評議員会、理事会に上程する。

4、(財)愛知県剣道連盟の諸規格について
いて
歳入 二九九、四七三、〇七七円
歳出 一一二、二八一、八一六円
差引残一八七、一九一、二六一円
5、段位、称号審査について 了承
6、専門委員会について 了承
7、第二十七回剣道中堅指導者講習会について
て 承認



理事会 平元・6・24(日) 協議事項	1、副理事長選出について 承認	1、副理事長選出について 承認	1、平成元年度事業計画(案)について て 承認
評議員会 平1・3・18(日) 協議事項	2、昭和六十三年度事業報告について て 承認	2、昭和六十三年度事業報告について て 承認	2、昭和六十三年度事業報告について て 承認
協議事項	3、(財)愛知県剣道連盟の諸規格について て 承認	3、(財)愛知県剣道連盟の諸規格について て 承認	3、(財)愛知県剣道連盟の諸規格について て 承認
協議事項	4、第二回全国健康福祉祭おおいた大会(剣道)について 了承	4、第二回全国健康福祉祭おおいた大会(剣道)について 了承	4、第二回全国健康福祉祭おおいた大会(剣道)について 了承
協議事項	5、段位、称号審査について 了承	5、段位、称号審査について 了承	5、段位、称号審査について 了承
理事会 平1・3・18(日) 協議事項	6、専門委員会について 了承	6、専門委員会について 了承	6、専門委員会について 了承
理事会 平1・3・18(日) 協議事項	7、国体、少年・少女の推進校及び拠点校について て 承認	7、国体、少年・少女の推進校及び拠点校について て 承認	7、国体、少年・少女の推進校及び拠点校について て 承認
理事会 平1・3・18(日) 協議事項	8、事務局の事務簡素化を推進するため、コンピューターの導入について て 承認	8、事務局の事務簡素化を推進するため、コンピューターの導入について て 承認	8、事務局の事務簡素化を推進するため、コンピューターの導入について て 承認
理事会 平1・3・18(日) 協議事項	9、段級位、認定審査及び職員給与規程を六月の評議員会、理事会に上程する。 規程を六月の評議員会、理事会に上程する。	9、段級位、認定審査及び職員給与規程を六月の評議員会、理事会に上程する。 規程を六月の評議員会、理事会に上程する。	9、段級位、認定審査及び職員給与規程を六月の評議員会、理事会に上程する。 規程を六月の評議員会、理事会に上程する。

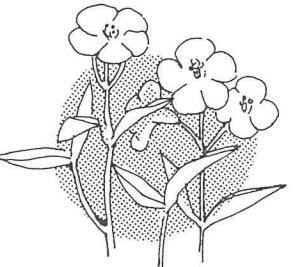
了承

各連盟所在地一覽

団体名	〒	住所	責任者	電話
愛知県剣道連盟	453	名古屋市中村区鳥居通り 2-41 ウチフジビル2F	松田和夫	052-481-0093
名古屋市地区剣道連盟	453	名古屋区西区藤の宮通り 3-15 川津ビル405	加藤信雄 FAX	052-586-6850 052-581-8688
尾張地区剣道連盟	491	一宮市八幡 4-1-28 一宮武道館内	山本芳郎	0586-43-1023
西三河地区剣道連盟	444-06	幡豆郡吉町駄字富好新田字 蔵井戸 5	早川五十一	0563-32-2044
東三河地区剣道連盟	443-01	蒲郡市形原町西御屋敷28-2	富田孝夫	0533-57-2769
尾南地区剣道連盟	477	東海市高横須賀町真光寺20	伊藤勲次	0562-32-0103
中部地区実業団剣道連盟	451	名古屋市西区松前町 2-60 名鉄体育館内		052-561-4811
愛知県剣道道場連盟		名古屋市南区楠町66	山本重夫	052-811-3616
東海学生剣道連盟	453	名古屋市中村区名駅 4-7-35 毎日新聞中部本社事業部内		052-561-5202

田 元次（七十六才）
愛知県剣道連盟副会長
名古屋市剣道連盟会長
東海私立大学剣道連盟会長
名古屋大学剣道部OB会会长
平成二年十月十五日逝去
謹んで御冥福を
お祈り申し上げます。

編集後記



平成二十二年度役員一覧

評議員 松本 武東三河
事務局
事務局長 松田 和夫
總務 竹味由登
會計 平塚玲子

広報「観の眼」第十四号

平成二年十一月二十五日

財団法人愛知県剣道連盟
〒451 名古屋市中村区鳥居通り
二ノ四一ウチフジビル二階
電話(052)481-1009
FAX(052)481-1009五

題字・名誉会長 竹田弘太郎氏